

# 大杉陽太

オオスギヨウタ

代表取締役社長  
コミュニケーション戦略プロデューサー  
クリエイティブディレクター

東京都出身

1996年3月 東京大学薬学部 卒業  
1998年3月 東京大学大学院薬学系研究科修士課程 卒業  
1998年4月 株式会社電通 入社  
2014年6月 株式会社電通 退職  
同年、株式会社ニーシーズ 代表取締役に就任  
同年、株式会社ハンディ 代表取締役に就任  
同年、株式会社アタリ 取締役に就任  
2015年3月 株式会社スタイリィ 取締役に就任

【主な実績】

- ・株式会社電通時代は、アサヒビールグループチームに配属となり、以後約15年間に渡りクリエイティブ制作及びプロモーション領域を担当。
- ・「三ツ矢サイダー」生誕120周年キャンペーンにおいて、三ツ矢サイダー史上初めてとなる主婦向けのTVCMを発案し、その結果同商品は売上げを短期間にV字回復し、その年の日経ヒット商品にランクイン。
- ・「MINTIA」の全体コミュニケーションを7年プロデュースし、その間の同商品売上げは10倍以上となり、FRISKを抜いて圧倒的シェアNo.1商品へと成長。
- ・韓国化粧品会社HANSKINの日本進出を手掛け、日本に「BBクリーム」ブームを作り、韓国化粧品市場を日本に定着させる。
- ・ホクト株式会社の扱いを新規獲得し、TVCM（2013年）はオンエア開始3日でYouTube再生数200万回を超え、三日連続再生回数日本一位を獲得。
- ・日本初のネット完結型クリーニングサービス「リネット」（株式会社ホワイトプラス）の初コミュニケーション戦略を手掛け、坂上忍さんを30年ぶりのTVCMに起用し、その結果オンエア開始3日でYouTube再生数100万回を超え、本サービスの会員数及び売上げ約300%達成に貢献。
- ・「Hulu」（HJホールディングス合同会社）の2014&2015年度のTVCMを手掛け、映画評論家の淀川長治さんを起用し、同サービスの会員数100万人突破に大きく貢献。
- ・2016年、「氷室京介 LAST GIGS」のコミュニケーションをプロデュースし、“俺たちは、氷室京介を卒業できない。”のキャッチコピーがファンから絶大な支持を得る。
- ・2017年、「Superfly デビュー10周年」及び2017年紅白歌合戦初出場を果たした「WANIMA」の初メジャーアルバムのコミュニケーションをプロデュース。
- ・2018年、いとうあさこ率いる劇団「山田ジャパン」（脚本/演出：山田能龍）の総合プロデュース開始。また、サーフィン日本代表「波乗りジャパン」の独占マーケティング権を取得し、サーフィン業界に進出。
- ・2019年、サーフィン日本代表決定戦「第1回 JAPAN OPEN OF SURFING」の立ち上げに参画。
- ・2020年、GLAYデビュー25周年キャンペーンをか株式会社ニーシーズにて総合プロデュース。
- ・2021年、生まれて初めてゴルフにハマり、戸塚カントリー倶楽部のメンバーになるも、スコアは100を切れず（笑）。
- ・2022年、テレビドラマのタイトルを初開発。（日本テレビ系水曜ドラマ『ムチャブリ！ わたしが社長になるなんて』主演：高畑充希）
- ・2023年、鎌倉発の老舗ブランド「RASH」擁する株式会社イナポリ・トレーディングを事業継承し、アパレル業界に本格参入。



<http://neeseez.com> [info@neeseez.com](mailto:info@neeseez.com)